

株式会社タカヤマ 環境経営レポート

2023 年度

(対象期間 2023 年 3 月～2024 年 2 月)



目 次

1. 組織の概要	1 頁
2. 対象範囲、レポートの対象期間及び発行日	1 頁
3. 実施体制	
4. 環境経営方針	2 頁
5. 環境経営目標とその実績	3 頁
6. 環境経営計画	4 頁
7. 環境経営計画の取組結果とその評価、次年度の取組内容	5 頁
8. 環境関連法規等の遵守状況の確認及び評価の結果 並びに違反、訴訟等の有無	6 頁
9. 代表者による全体の評価と見直しの結果	7 頁

2024 年 07 月 24 日発行

2024 年 08 月 20 日改訂

1. 組織の概要

1) 事業所名及び代表者名

株式会社 タカヤマ 代表取締役 高山 伸和

2) 所在地

本社：東京都葛飾区白鳥4丁目2番地3号

三郷工場：埼玉県三郷市新和3丁目377番地

3) 環境保全関係の責任者及び担当者連絡先

環境管理責任者 営業 齋藤 壽

連絡先 電話 03-3603-0831

F A X 03-3603-0837

電子メール info@takayamaweb.co.jp

<http://www.takayamaweb.co.jp/>

4) 事業の内容

ネジ部品・切削部品・プレス部品等の製造，販売

5) 事業の規模

事業規模	単位	2020 年	2021 年	2022 年	2023 年
売上高	百万円	588	703	891	888
従業員数	人	30	27	27	27
床面積(本社)	m ²	712	712	712	712
床面積(工場)	m ²	590	590	590	590

2. 対象範囲（認証・登録範囲）、レポートの対象期間及び発行日

1) 対象範囲は「1. 2) 所在地及び4) 事業の内容」欄に記載。

2) レポートの対象期間及び発行日は表紙に記載。

3. 実施体制

環境経営システム実施体制図

改訂日：2024/7/5



役割、責任及び権限表

対象者	役割、責任・権限
代表者	1. 環境管理責任者の任命 2. 環境方針の制定 3. 環境経営システムの実施および管理に必要な資源の準備 4. 環境経営システムの定期的見直しの実施 5. 社内情報の外部公開可否決定
環境管理責任者	1. 環境経営システムの確立、実施、維持、継続的改善 2. 社長への環境経営システムの実施状況報告 3. 推進機関であるEA21EMSの事務局の責任者として事務局運営 4. それぞれの業務・役割に応じ、必要な教育訓練を適切に計画・実施する 5. 環境関連法規の遵守確認
EA21事務局	1. 環境管理責任者の任務である環境経営システムの確立、実施、維持、継続改善を実施する際の推進機関を務める 2. 環境活動の実績を収集し、環境管理責任者に報告する
部門責任者	1. 環境経営システムの方針、実施計画を自部門で実施、維持、継続的改善する
全従業員	環境方針の理解と環境への取組の重要性を自覚し、決められたことを守り、自主的・積極的に環境改善に取り組む

4. 環 境 経 営 方 針

【 基本理念 】

株式会社 タカヤマ は、戦前より創業し、ネジ及びネジ関連加工部品の製作・販売等ネジの総合関連企業として、日本の産業を底辺より支えて参りました。環境に対する危惧が世界中で叫ばれている昨今、当社に於いても地球温暖化防止等に貢献する為、環境関連法規等を遵守し、社員一人一人が自覚を持って環境に対する取組を実行していきます。

【 環境経営の行動指針 】

当社は、企業理念を踏まえ、既存の現況に満足せずに、常に新しい顧客・新しい商材を探し求め、事業の業績の向上に努めております。環境経営への取組みに当たっては、環環境関連法規等を遵守し、環境負荷を削減するための省資源・省エネルギーの活動や環境配慮製品の販促の継続的な改善に努めております。環境への取組みに当たっては、以下の基本的方向に基づき全従業員参画による活動を展開しております。

【環境への取組の基本的方向】

- ① 電力使用量及び車両等の化石燃料使用量を抑制し、CO₂排出の低減に努める。
- ② リサイクルを推進することにより廃棄物の削減を図る。
- ③ 水の使用量の削減に努める。
- ④ グリーン購入を推進する。
- ⑤ 環境配慮製品の製作・提供に努める。

この環境方針は社員全員に周知し、広く環境コミュニケーションに積極的に取り組みます。

2010 年 9 月 2 日制定

2017 年 1 月 1 日改定

2019 年 05 月 17 日改定

株式会社 タカヤマ

代表取締役 高山 伸和

5. 環境経営目標とその実績

2023年度 全社 環境目標実績表							承認		作成	
							高山		唐沢	
作成：2023年 3月 1日 記録：2024年 2月 29日										
No	環境方針項目		基準値	CO2 換算係数	2023年度			年度目標		
			(2022年度実績補正)		目標	実績	評価	2024 年度	2025 年度	2026 年度
1	二酸化炭素排出量の削減	電力使用量の削減	電力使用量	0.474	基準値に対し 2 %削減	225,264	○	基準値に対し 3 %削減	基準値に対し 4 %削減	基準値に対し 5 %削減
			334,949 kWh／年		328,250 kWh／年以下			324,901 kWh／年以下	321,551 kWh／年以下	318,202 kWh／年以下
		化石燃料使用量の削減	油種別使用量	2.492	基準値に対し 28 %削減	200	○	基準値に対し 29 %削減	基準値に対し 30 %削減	基準値に対し 31 %削減
			灯油<L／年> 2,423		1,745 L／年以下			1,720 L／年以下	1,696 L／年以下	1,672 L／年以下
		ガソリン使用量	2.322	基準値に対し 7 %削減	4,472	○	基準値に対し 8 %削減	基準値に対し 9 %削減	基準値に対し 10 %削減	
ガソリン<L／年> 7,225	6,719 L／年以下	6,647 L／年以下		6,575 L／年以下			6,503 L／年以下			
		計(kg-CO ₂)	181,578 kg-CO ₂ ／年以下		175,538 kg-CO ₂ ／年以下	117,656 kg-CO ₂ ／年	○	173,722 kg-CO ₂ ／年以下	171,906 kg-CO ₂ ／年以下	170,090 kg-CO ₂ ／年以下
2	廃棄物排出量の削減	一般廃棄物排出量の削減	一般廃棄物排出量		基準値に対し 13 %削減	9,796	○	基準値に対し 14 %削減	基準値に対し 15 %削減	基準値に対し 16 %削減
			16,753 kg／年	14,575 kg／年以下	14,408 kg／年以下			14,240 kg／年以下	14,073 kg／年以下	
		産業廃棄物排出量の削減	産業廃棄物排出量	2011年の実績に対し 14 %削減	2,095	○	2011年の実績に対し 15 %削減	2011年の実績に対し 16 %削減	2011年の実績に対し 17 %削減	
			4000 kg／年(2011年度)	3,440 kg／年以下			3,400 kg／年以下	3,360 kg／年以下	3,320 kg／年以下	
3	水使用量の削減 <水道使用量: m ³ >	水道使用量		基準値に対し 14 %削減	277	○	基準値に対し 15 %削減	基準値に対し 16 %削減	基準値に対し 18 %削減	
		396 m ³ ／年		341 m ³ ／年以下	m ³ ／年		337 m ³ ／年以下	333 m ³ ／年以下	325 m ³ ／年以下	
4	グリーン購入の推進 <エコ商品購入額／総購入額>	エコ商品購入率		エコ商品購入率	74	○	エコ商品購入率	エコ商品購入率	エコ商品購入率	
		57 %		68 %以上	%		69 %以上	70 %以上	71 %以上	
5	環境配慮商品・サービスの提供 <エコ商品販売額／総販売額>	エコ商品販売率		エコ商品販売率	52	○	エコ商品販売率	エコ商品販売率	エコ商品販売率	
		32 %		51 %以上	%		52 %以上	53 %以上	54 %以上	
(注) 購入電力の排出係数については、平成28年度の東京電力エナジーパートナー(株)の二酸化炭素排出係数：0.474(kg-CO2/kWh)を用いた。										

6. 環境経営計画

環境経営計画書(2023年度:2023年3月～2024年2月)					承認	作成
環境経営目標項目		取組項目	責任者	担当	取組内容	
二酸化炭素排出量の削減	1)電力使用量の削減	①照明管理の徹底 ②空調管理の徹底 ③事務機器管理の徹底 ④生産性の向上	齋藤	木村 加 園	①適正照度の維持、不要時のこまめな消灯、点灯・消灯時間の管理及び白熱灯から高効率照明器具への変更 ②空調設定温度の緩和(夏25℃、冬21℃)、定期的なフィルターの掃除及びこまめな運転、停止の実施 1F倉庫の明り取りの窓に暗幕を張り、温度上昇を抑制している ③パソコン・コピー機等のOA機器の省エネ、コピー機、エネルギー効率の高いパソコン、プリンター等のOA機器の導入 ④加工タイムの見直し、工程集約など生産工程の見直しを図り、効率的な生産を行う。	
	1)一般廃棄物排出量	①紙類使用量の削減 ②分別の徹底			①紙類使用量の削減 ・会議用資料や事務手続書類の簡素化に取り組んでいる ・社内LAN、データベース等の利用による文書の電子化に取り組んでいる ・打合せや会議の資料等については、テレビ会議システムや大型ディスプレイの利用により、ペーパーレス化に取り組んでいる ・印刷物を作成する場合は、その部数が必要最小限の量となるように考慮し、残部が出ないように配慮している ・コピー用紙、コンピューター用紙、伝票、事務用箋、印刷物、パンフレット、トイレ用ペーパー、名刺等の紙について、再生紙または未利用繊維への転換を図って	
廃棄物排出量の削減	2)産業廃棄物	①産業廃棄物の排出抑制 ②産業廃棄物の再利用・再利用 ③産業廃棄物の適正処理	齋藤	木村	①産業廃棄物の排出抑制 ・納品の際の梱包、包装資材等の削減に取り組んでいる ・簡易包装の推進、多重包装の見直し等を推進している ・製品等の輸送の際には、繰り返し利用できるパレットや通い箱を利用している ②産業廃棄物の再利用・再利用 ・コピー機、プリンターのトナーカートリッジの回収ルートを確認し、リサイクルを図っている ・梱包用段ボール、梱包資材の再利用に取り組んでいる ③産業廃棄物の適正処理 ・廃棄物管理票(マニフェスト)をもとに廃棄物の適正な処理を行っている	
	水使用量の削減	①水使用量の削減 ②漏水管理の徹底			①水使用量の削減 ・手洗い時、洗い物においては、日常的に節水を励行している ・蛇口に節水こま(適量の水を流す機能を持つこま)を設置している ・トイレは音姫を設置し、節水を励行している ・洗濯も極力まとめて行っている ②漏水管理の徹底 ・水道配管からの漏水を定期的に点検している	
グリーン購入の推進		①環境配慮事務用品等の購入 ②環境配慮車両の購入	齋藤	菊池	①環境配慮事務用品等の購入 ・環境に配慮したグリーン商品を積極的に購入している ②環境配慮車両の購入 ・社用車について、軽自動車、ハイブリッド車や低燃費車、低排出ガス認定車等の低公害車への切り換えに取り組んでいる	
環境配慮製品・技術・サービスの提供		①環境配慮製品の提供 ②環境配慮技術の確立 ③環境配慮サービスの提供			①環境配慮製品の提供 ・客先に環境対応製品についての特性を説明して、販促をすすめている ・在庫スペースを区分けして、環境配慮製品と非環境配慮製品が混在しないようにしている ②環境配慮技術の確立 ⇒該当しません ③環境配慮サービスの提供 ⇒該当しません	

7. 環境経営計画の取組結果とその評価、次年度の取組内容

	2023年度 3月～2月	環境活動計画の取組結果とその評価、次年度の取組内容			承認	作成
	作成年月日:	2024年7月5日			高山	齋藤
No	環境方針・環境目標項目		具体的活動内容	取組		
				結果・評価	次年度の内容	
1	二酸化炭素排出量の削減	電力使用量の削減	①休憩時の消灯 ②エアコンの温度設定 ③省エネタイプの電化製品を使う ＜三郷工場＞ ④工程集約による生産性の向上	○電気使用量については、目標値を適切に変更したため、本社、三郷工場ともに目標達成できた。	○①②③④の取組を継続する。	
		化石燃料使用量の削減	＜共通＞ ①無駄な使用を避ける ②距離ごとに車種を選定した ＜油種別＞ ③省エネ運転の実行 ④タイヤの空気圧を適正に保つ	○目標値をクリア出来た。	○①②③④の取組を継続する。	
2	廃棄物排出量の削減	廃棄物排出量の削減	①分別の徹底 ②廃棄物のリサイクル推進 ③社内LAN利用による文章の電子化	○目標値をクリア出来た。	○①②③の取組を維持する。	
3	水使用量の削減 ＜水道使用量: m ³ ＞		①水使用量の節約 ②洗濯はまとめて行う ③音姫の使用	○目標値をクリア出来た。	○①②③の取組を継続する。	
4	グリーン購入の推進 ＜エコ商品購入額／総購入額＞		①再生紙等の積極購入 ②充電式乾電池の使用 ③リサイクルトナーの使用	○個人の意識が高まり、目標値をクリア出来た。	○①～③を継続する。 ○継続して、グリーン商品を積極的に購入する。	
5	環境配慮商品・サービスの提供 ＜エコ商品販売額／総販売額＞		①データ収集・組込・テスト ②環境配慮商品の売り込み強化 ③専用保管スペースの確保と保管	○目標51%に対して 実績52%とクリア出来た。	○①②③の継続し、得意先に環境配慮商品のアピールを進めていく	

8. 環境関連法規等の遵守状況の確認及び評価の結果並びに違反、訴訟等の有無

当社に關係する環境関連法規等は下記の通りですが、下記のように遵守状況を2024年7月3日に確認した結果、違反はありませんでした。また、関連機関からの指摘、環境関連の訴訟も過去3年間ありませんでした。

区分	法規等名称	遵守事項	遵守状況	
			チェック日	結果
廃棄物	廃棄物の処理及び清掃に関する法律（産業廃棄物の適正処理）	・再資源化による廃棄物排出量の削減 ・保管場所の囲い・表示板の設置 ・委託契約締結、定期的確認 ・マニフェストの交付、管理	2024年7月3日	適合
	廃棄物の処理及び清掃に関する法律（一般廃棄物の処理）	・一般廃棄物の分別収集、排出	2024年7月3日	適合
	葛飾区廃棄物の処理及びリサイクルに関する条例	・保管場所の設置及び種類等の表示 ・保管場所の管理	2024年7月3日	適合
水質汚濁	浄化槽法	・浄化槽の保守点検及び清掃、水質検査を業者に委託して実施する。 記録は3年間保管する。	2024年7月3日	適合
大気汚染防止	フロン排出抑制法	・法規制に則って廃棄の際は、回収業者にフロン類を引き渡す。	2024年7月3日	適合
資源循環	特定家庭用機器再商品化法	・使用済家電品のリサイクル処分	2024年7月3日	適合
	使用済自動車の再資源化等に関する法律	・使用済車両のリサイクル処分		適合
消防	三郷市火災予防条例	・切削油、潤滑油及び洗浄液は、条例で定める技術上の基準に従って貯蔵及び取り扱う。	2024年7月3日	適合
グリーン購入	国等による環境物品等の調達の推進等に関する法律	・エコ商品選択購入	2024年7月3日	適合
その他の要求事項	EUの指令 電気電子機器製品の有害物質使用制限指令 RoHS規制	・使用禁止の6有害物質含有製品を納入しないように管理する	2024年7月3日	適合

9. 代表者による全体評価と見直しの結果

見直し実施日	2024年7月8日 (☒ 定期見直し ☐ 臨時見直し)		
見直し対象期間	2023年3月 1日 ~ 2024年2月28日		
出席者	代表者、環境管理責任者、部門責任者		
前回の見直し記録より指示への取組結果	※前回の指示事項は三郷工場の廃棄物排出量の削減に関する指示でした。 三郷工場の廃棄物排出量については、オイルスキマー導入により廃油も削減でき、本社、三郷工場双方ともに目標達成した。引き続き目標達成できるよう務めるが、三郷工場については今後も新規設備入替を検討しており、必要があれば各項目の目標値の見直しを行い適切に対処する。		
見直しに必要な情報	①環境関連法規の遵守状況(環境関連法規等取りまとめ表兼遵守確認評価表による) ②環境経営目標の達成状況及び環境経営画の実施状況、その評価結果(環境経営計画兼実績書による) ③適用範囲、実施体制 ④問題点の是正処置及び予防処置の結果(是正／予防処置報告書による) ⑤外部からの環境に関する苦情等の受付結果(外部コミュニケーション記録による) ⑥その他(法規制の動向や取引先からの「グリーン調達」の情報等)		
代表者による 評価 経営的観点	【環境経営システムが有効に機能しているか】(①、③、④、⑤等を踏まえて評価) 各目標項目に対し計画通りに達成出来たため、現在の環境経営システムは有効に機能しているものと評価できる。よって、現在の体制を維持しつつ、継続して監視することを指示した。		
	【環境経営への取組が適切に実施されているか】(②等を踏まえて評価)		
	目標項目	目標達成状況	経営計画実施状況
	二酸化炭素排出量の削減	☐	☐ 継続して監視することを指示
	廃棄物排出量の削減	☐	☐ 継続して監視することを指示
	水使用量の削減	☐	☐ 継続して監視することを指示
	環境配慮型製品・サービスへの取組み	☐	☐ 前期目標を達成したので、継続して達成することを指示(達成率52%)
代表者による 見直し 変更の必要性の有無・変更に必要な具体的指示事項	【環境経営方針】 変更の必要性 : ☐ 有 ☒ 無 現行を継続する		
	【環境経営目標及び環境経営計画】 変更の必要性 : ☐ 有 ☒ 無 現在の体制を維持する。		
	【実施体制】 変更の必要性 : ☐ 有 ☒ 無 現在の体制を維持する。		
	【環境経営システム等】 変更の必要性 : ☐ 有 ☒ 無 状況に応じて必要があれば、システムの見直しを考慮する。		
	【総括】(環境経営レポートに転記)		
	現在の体制を維持する。		